

【悩み：「プライスアクションは分かったけど、
エントリー回数が少ないな・・・」】

どうもゆうです！

さて、神レベルトレーダーこと

アメリカのCFG 投資スクールをアジア人で唯一卒業して

その後20万円を1億円に増やしてその後

すさまじい額を稼いでることで

有名な根崎さんとの対談音声ですが、

公開して2日ですがめちゃくちゃ好評ですね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

また以下は音声に関する詳細解説のPDFです。

~~~~~

PDFレポート

【勝率50%でもリスクリワード比率1：2ならお金は増える!?!】

[http://fxgod.net/pdf/risk\\_reward.pdf](http://fxgod.net/pdf/risk_reward.pdf)

PDFレポート

【数千人のFXトレーダーを見てきた講師が明かす

「勝てる人・勝てない人」の違いとは?】

<http://fxgod.net/pdf/kateruhito.pdf>

~~~~~

それで今回の案件では

もうちゃんと「勝てるまでの道筋」つてのを無料で

明らかにして、

できれば無料段階で利益出てくるような人ってのが

全員とはキレイゴトではいけないけど

熱心な人でそういう人が多く出ればな～ってことで

この企画を開催してみています。

ちなみにあなたもご存知のように

世の中には色々なノウハウとかがあって

まるで

「そのノウハウだけを手に入れたら稼げる

黄金のノウハウみたいな」ものって多いですよね??

けど実際はちゃんと欧米の投資機関なんかでは

そういう裏技とかではなく

「投資の教育」ってのがありまして、

そういうところで学んだ人が2年間デモトレードとかで
鍛えて、ブラックロックとか、まあ各種そういうファンドの
トレーダーなりになってるわけでした

結局 ちゃんと 投資の教育の段階を経るってのが

大事なんですね～

んで、それを提供できるのが根崎さんだったので

今回この企画やってみてるんだけど

この企画通して検証する人がより増えてきて

それで リスクリワードとか勝率の「確率優位性」の意味も

分かる人が増えれば面白いな～なんて、私は思ってます。

っていうのがよく私は「**確率優位性**」とか書くけども

そもそもこの「確率優位性」って検証しないと

意味が体感で分からない単語でして、

なので、それを多くの人が検証を通じて

この確率優位性ってのを理解できればな、と思います。

それでまずこの対談音声では PDF でも配られてる

プライスアクションの利益出るパターン以外にも、

「ツイン」とか「十字」なんかのパターンも

教えていますね。

文字じゃなくて敢えて音声です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それでプライスアクションの結構優位性の高い

フォーメーションって沢山あるんだけど

最初の段階で出てくる

ピンバー、とかエンゴルフインバーとか

あとはツインとか十字・・・

なんかは実際に検証に入ってる方も多いことでしょう。

ただ問題が出てきます。

それが検証する中で

「うーん、検証はできたんだけど

4時間足とかだと週1、2回しか

このプライスアクションって出ていないな・・・」

っていう悩みですね！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【悩み：「プライスアクションは分かったけど、
エントリー回数が少ないな・・・」】**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、ここで

「プライスアクションは分かったけど、
エントリー回数が少ないな・・・」

っていう悩みがどうしても出てくるものです。

実は多くの方が検証して例えば

ピンバーの有効性は分かってくるわけです。

例えばMA 10、20、75でもいいけど

実はこの MA 設定はまた根崎さんは色々持ってるけど

それらにタッチしたプライスアクション、例えば

ピンバーなんかは検証してみたら分かると思いますが

勝率も高いし、ちゃんとリスクリワードで

1 : 2、すなわち損失が 1 万円なら利益が 2 万円、

っていうトレードが可能なのが分かると思います。

ちなみに検証の際にリスクリワード図る簡単な方法は

PDF にフィボナッチ・リトレースメント使う方法は

書いてるから

初心者の人は参考までに。

PDFレポート

【勝率50%でもリスクリワード比率1：2ならお金は増える!?!】

http://fxgod.net/pdf/risk_reward.pdf

それで例えばプライスアクションでも

「ピンバーだけ」のルールの検証なら

まあ意外にチャンスはあるものです。

ただここで勝率をあげるために、

フィルターとして上記のように

「MAタッチした場合」とかそういうルールを

加えますと、一気に出現頻度は下がるわけですね。

また、これは補足ですが

ピンバーでも 実体と髭の比率で

実体と髭の比率が 1 : 3、もしくは 1 : 5だと

当然 1 : 5 のピンバーのほうが強いですよ。

ちなみに初心者さんで 実体 : 髭の比率で

1 : 1 とかのろうそく足を

「ピンバーですよ？」とか言ってるケースありますが

それピンバーじゃないです・・・

ちゃんと最低でも実体と髭の比率は 1 : 3 は最低でもほしい。

1 : 5 以上とかあると良いですね。

それでここである程度強いピンバーに絞ったりすると

それで MA タッチとかになるとより出現頻度は下がってくるわけで

検証してる中で勝率を担保して リスクリワード 1 : 2 とかを

狙っていくとなると

どうしても「エントリー回数が少なくなってしまう」

っていう問題が発生します。

それでここで多くの人がやってしまうことってのが

「時間足を落としてしまう」ってことですよ。

確かに4時間足から15分足に落とせばそれだけ

出現頻度は高くなるけど

ろうそく足でも4時間足のろうそく足1本と、

15分足のろうそく足一本だと・・・

統計データの数で言うと4時間のほうが多いわけで

できればある程度の長さの時間足が良い

つてのが根崎さんが対談音声で言ってないけど

生徒たちに言ってることでもあります。

けどここで「4時間足でピンバーでそして

勝率もリスクリワードも担保した上で

なおかつ、エントリー回数もほしい」

となったらどうしますか??

そう、これは昔からの読者さんなら分かると思いますが、

「監視通貨ペアを多くする」ってのが根崎さんが

よくやってることですね!

例えばドル円の4時間足で条件を満たす

ピンバーが週に1回しか出ていなかったとしても、

他の通貨ペアなんかで30通貨とか監視していくと、

ここで該当するピンバーの量ってのは単純に30倍になるわけで

実際に通貨ペアを増やすことをすれば

4時間足とかでもぜんぜんエントリー回数が少ないって

問題には遭遇しなくなります。

ちなみにおそらく大多数の検証してる人が陥ってしまうところ

ってのが

エントリー回数の問題から

時間足を落としてどんどんスイングから

デイトレ、スキャルに嵌っていくってことなんだけど

これだと上記のように、あまり統計データが多くないですから

膨大な検証量が必要になったりするんで、

やはり難易度が高くなるわけです。

またスプレッド問題も馬鹿にできません。

15分足でストップまでの距離が20 PIPSで

利益40 PIPS取るっていう1 : 2のリスクリワードの

トレードだとしても

スプレッドなりの手数料を換算してしまうと

やはり厳密に1 : 2の利益からはかなり遠くなるわけで

場合によっては1 : 2取れてるのに

1 : 1.5 で1.5しか利益乗っかってないとかですね、

そういうのは起こってしまうわけで

そういうのを避けるためにもある程度の長さの

時間足で 監視通貨ペアを多くするってほうが

有効ですよ。

ちなみに監視通貨ペアを多くすると

ドル円やユーロドルなんかの спреッドは小さいんだけど

他のマイナーな通貨ペアだと спреッドが 8 PIPS 9 PIPS

開いてるようなものもあります。

ただ、ここでも良い形状のピンバーとかの

プライスアクションって結構出るんですね。

ただこれはある程度時間足が長いと問題がない場合が

ほとんどで、

4時間足とかになると

ストップまで90 PIPS,利益まで180 PIPSみたいな

トレードで設定していきますから、

そうなるとまあ90 PIPSに対してスプレッドが

5 PIPSなり6 PIPSなりってのが出ても

まあ比率的に、割合的に許せる範囲ですよ。

そういうところもあって、

やはり複数通貨ペアで4時間足なりを利用して

プライスアクションの検証をするってのが

基礎としては良いと思います。

ちなみにもう根崎さんのような完全に時間が

ある方は

本当は15分足とかもやるんだけど

根崎さんの場合は1通貨、15分足でも

数千回の検証やってるんで、

その検証数があるから、まあOKですけど

普通はできないでしょうから

やはり4時間足で20通貨なり30通貨見ていくってのが

良いですね。

ちなみに「プライスアクショントレード」の場合、

実は本質的な値動きのパターンになるので

「FXに限らない」 のですね。

例えば CFD とか扱える証券会社は海外に多いけど

海外証券だと、先物で原油なり金なりも扱ってるところ

多いですが

さらに株なんかも先物で扱ってたりします。

これらでも枚数によりますが、プライスアクションは

使えますので

監視通貨ペアを増やすと、より、そこで

トレードチャンスは増やせるってことですね^^

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ただ一応根崎さんがおっしゃるのが

「最低でも1通貨の1つの時間足で

検証は100回」ってのが

ありますが

監視通貨ペアを増やすと

「検証数がすごい増える」ってのは

出てくるわけです。

ただこれもプライスアクションなんかで

複数通貨を監視していて

それで「あ、これは」っていうプライスアクションは

出てくるとは思いますが

そういうときに

毎回トレード前に4時間足とかだと動きが

ゆっくりですから、

そこで10分でも20分でも検証はできる、

わけですね。

そこでトレードする前に、検証数を10でも20でも

稼いで、それでやってもいいんじゃないか

とは個人的に思います。

というのは10トレードしてマイナスって

検証してると滅多に出ないわけでした

そういう意味で10回や20回の検証を毎回

エントリー時に稼いでいくっていうことを

やれば

結構数百の検証数は溜まりますよね。



デモトレードと、少額検証は

勝つためにやるのではない??



さて、それで検証数が溜まってきたら

そこで基本的には

デモトレード、もしくは少額検証となりますが

そこで多くの方は「デモトレードや少額検証で勝てるかどうか」

を気にします。

けど、これも欧米とかの投資教育機関のちょっとした

違いなんだけど

彼らは「デモ、もしくはその後の少額検証では、

検証とデータのギャップがあまり大きく出ていないか

確認をする」

ためにデモや少額検証をやったりします。

なのでよくインフォの教材の中で

「デモで勝てるようになってきました」

とかありますが、

それ・・・そもそもデモの考え方が違う、わけですね。

まず検証ってのを最初にするんだけど

そこでリスクリワード比率と勝率の関係値で

「トータルでちゃんと利益が出るトレードルールだな」

って分かってくるんだけど

ここで、実際のデモトレードなりで、

その検証データ通り、ちゃんと利益が積み重なるかどうか？

ってのを確認するのが本来のデモの目的なんですね。

少額検証の場合は少額でもいいからそこで

利益が出るかどうか、確認すると。

それでここで

「検証ではちゃんと利益が出るトレードルールなのに

デモトレードなり少額検証だとなんか微妙だぞ」

ってことがあるんだけど

そういう場合は実は検証の仕方の問題に気づく場合が

多くて、

普段 日本時間で夜19時くらいにトレードする人なのに

やたら検証では朝9時のデータが入っている・・・

とかそういうところで検証の方法なんかの問題も

発見できるわけですね。

それで

1 検証でのデータ

と

2 デモトレードやその後の少額検証のテスト

を比べて、検証の方法も若干調整していく

みたいな作業で

実際はこれがまさに

欧米の投資教育機関の「王道」であるのでしょう。

が、これ日本だとやってる人はほぼいないし、

デモトレードや少額検証ってのも

「検証データとのズレを発見するため」

にやってる人は実はほとんどいない、ってのが

現状ですね。

ただこういうのもあなたは

このメルマガの文章を通じて

理解できてる、情報として知ってる状態には

現在なってるわけですので

あとは上記の工程を踏めば

かなり早い段階で利益が出てくる状況に

なっていく確率が極めて高くなってくださいね！！

ちなみに**デモと少額検証の差**ってのもあって

これはスプレッドなりの手数料コストってのが

実際のトレードでは発生するので

それが検証上得られたリスクリワード1 : 2なら

それが1 : 1.9とか1 : 1.7くらいになるのか、

とかそこの計算をするために少額検証を

デモと違って入れていくってことですね。

なので

検証も

デモも

少額検証も

「それぞれにちゃんとデータ上の意味がある」

ってことですね。

ただこれは知ってる人はいたとしても

かなり少数で

ここで初めて知った・・・っていう人も

きっと多いはずなんですね。

それくらい日本では投資教育が遅れているってことで

それをちゃんと教えてるのが根崎さんです！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

だからトレードルールだけじゃなくて

そのトレードルールを生かしてちゃんと利益に

つなげるための

「儲かるまでのちゃんとした道筋」ってのがある

わけですね。

すなわち、この前野球で素晴らしいプレイヤーであった

イチロー選手が引退したけども

彼の振り子打法を ロジックとして教わっても

それはなかなか活用できないんだけど

実はそれを活用するまでの彼なりの道筋ってのが

絶対あるんですね。

すなわちロジックとかルールとかを活用する方法、

行動姿勢、これが

実は 稼げる人と、稼げない人を分けてるものだ

とも分析できます。

逆にこの辺が分かったら、

かなり「道筋」は見えるんじゃないでしょうか??

今回の案件ではその「道筋」を示すつてのもあって

やってるんだけど

音声にあわせて、上に書いたことも

考慮してやっていただくと

結構成長が早いと思いますので、

是非、この4月の企画とともに

意識してやってみてくださいね！

では！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yyu/>

PDFレポート

【数千人のFXトレーダーを見てきた講師が明かす
「勝てる人・勝てない人」の違いとは？】

<http://fxgod.net/pdf/kateruhito.pdf>

PDFレポート

【勝率50%でもリスクリワード比率1：2ならお金は増える!?!】

http://fxgod.net/pdf/risk_reward.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆